

東京工芸大学工学部4年の宮崎淳さんが 「電子情報通信学会 東京支部学生会研究発表会」で 東京支部学生奨励賞を受賞

東京工芸大学(学長：吉野弘章、所在地：神奈川県厚木市、以下本学)工学部工学科4年生の宮崎淳さんが2023年3月4日に開催された電子情報通信学会東京支部学生会主催の「第28回電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会（以下、本研究発表会）」で、東京支部学生奨励賞を受賞しました。

本研究発表会はオンラインで開催され、本学工学部工学科総合工学系機械コースのロボットビジョン研究室から学部4年生5名が講演発表し、1名が東京支部学生奨励賞を受賞しました。

概要は以下のとおりです。

【第28回電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会】

- ・受賞者：東京工芸大学工学部工学科総合工学系機械コース4年 宮崎 淳
- ・指導教員：東京工芸大学工学部工学科准教授 鈴木秀和
- ・研究室名：ロボットビジョン研究室
- ・発表題目：「RoboCup MSLにおける得点率向上のためのシュートシステム」
- ・著者：宮崎淳、リカルドケビン、馬躍航、渡邊香、鈴木秀和
- ・研究概要：ロボットの技術向上・発展を目指した競技大会RoboCupのロボットにおいて、全方位カメラとDepthセンサを用いた複合視覚システムを用い、ゴールと敵ロボットを深層学習により認識することで、シュートコースを算出するシステムを構築した。
- ・今後の展望：実際の競技環境においてリアルタイムに安定したシュートコース算出ができるように改良を進める。
- ・発表論文：<https://pdf.gakkai-web.net/ieice/gakusei/2023webpro/pdf/112.pdf>

本学は、1923年の創立当初からテクノロジーとアートを融合した教育・研究を推進し続け、今年で創立100周年を迎えました。1966年に設置された本学工学部は、最先端の研究活動に不可欠な最新の装置と設備を備えています。本学は今後も、この探究フィールドを活用し、幅広い視野と豊かな独創性を兼備した高度な技術者や研究者へと育成していきます。



■電子情報通信学会 東京支部学生会

電子情報通信学会(以下 IEICE)東京支部学生会は、学生員の活動を盛んにし、かつ学生員相互の親睦を図ることを目的に、IEICE東京支部の下部組織として平成7年度に設立されました。

【URL】<https://www.ieice.org/tokyo/gakusei/>

■東京工芸大学工学部工学科総合工学系機械コース

機械コースでは、「ロボット・知能機械」をキーワードに、機械工学をベースとした「ものづくり」を通じて、実践技術に重点を置き、広い分野の技術を学ぶことができます。そして、機械コースでは社会で広く活躍できる人材の育成を目指しており、そのカリキュラムは、ものづくり技術を駆使した課題解決要素が分野別に系統立てて配置されています。

【URL】<https://www.t-kougei.ac.jp/gakubu/engineering/mc/>